

四十五 貸倒引当金

改 正 後	改 正 前
<p>(実績率により繰入限度額を計算する場合の貸金の額)</p> <p>21 - 2 - 2</p> <p>(1)<u>11 - 2 - 18</u>.....</p> <p>(2)</p> <p>(旧債権償却特別勘定に係る貸倒実績率の計算)</p> <p>21 - 2 - 6</p> <p>.....<u>法人税法施行令の一部を改正する政令(平成13年政令第135号)</u>による改正前の法人税法施行令第96条第2項第2号口.....</p> <p>.....<u>法人税法等の一部を改正する法律(平成13年法律第6号)</u>による改正前の法人税法第52条第1項第1号.....</p>	<p>(実績率により繰入限度額を計算する場合の貸金の額)</p> <p>21 - 2 - 2</p> <p>(1)<u>11 - 2 - 16</u>.....</p> <p>(2)</p> <p>(旧債権償却特別勘定に係る貸倒実績率の計算)</p> <p>21 - 2 - 6</p> <p>.....<u>令第96条第2項第2号口</u>.....<u>法第52条第1項第1号</u>.....</p>

四十六 賞与引当金

改 正 後	改 正 前
<p>(<u>使用人の大部分が転籍者である場合の賞与の支給実績</u>)</p> <p>21 - 3 - 17 一の事業所を<u>分離</u>して新会社を設立し、その事業所に勤務する使用人等を新会社に転籍させた場合のように、法人の使用人等の大部分が他の法人からの転籍者である場合には、当該他の法人が当該転籍者に支給した賞与の額につき当該法人が支給した賞与であるものとして旧令第103条第1項及び第2項《賞与引当金勘定への繰入限度額》の「支給した賞与の額」を計算することができるものとする。</p>	<p>(<u>会社分割等の場合の賞与の支給実績</u>)</p> <p>21 - 3 - 17 一の事業所を<u>分割</u>して新会社を設立し、その事業所に勤務する使用人等を新会社に転籍させた場合のように、法人の使用人等の大部分が他の法人からの転籍者である場合には、当該他の法人が当該転籍者に支給した賞与の額につき当該法人が支給した賞与であるものとして旧令第103条第1項及び第2項《賞与引当金勘定への繰入限度額》の「支給した賞与の額」を計算することができるものとする。</p>

四十七 特別修繕引当金

改 正 後	改 正 前
<p>(溶鉱炉、熱風炉等の特別の修繕の範囲)</p> <p>21 - 4 - 3</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p> <p>(4)</p> <p>(5).....</p> <p>(6)</p> <p>.....<u>危険物の規制に関する規則第62条の4</u>《定期点検を行わなければならない時期等》.....</p> <p>(注)</p> <p>(特別修繕完了の日及び築造の完了の日)</p> <p>21 - 4 - 4<u>平成10年改正令附則第13条第7項第1号</u>.....</p> <p>.....</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p> <p>(4)</p> <p>(引当金設定資産を賃貸した場合の取崩し)</p> <p>21 - 4 - 6<u>平成10年改正令附則第13条第5項第3号</u>.....</p> <p>.....</p>	<p>(溶鉱炉、熱風炉等の特別の修繕の範囲)</p> <p>21 - 4 - 3</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p> <p>(4)</p> <p>(5).....</p> <p>(6)</p> <p>.....<u>危険物の規制に関する規則第62条の5</u>《定期点検を行わなければならない時期等》.....</p> <p>(注)</p> <p>(特別修繕完了の日及び築造の完了の日)</p> <p>21 - 4 - 4<u>平成10年改正令附則第13条第2項第1号</u>.....</p> <p>.....</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(3)</p> <p>(4)</p> <p>(引当金設定資産を賃貸した場合の取崩し)</p> <p>21 - 4 - 6<u>旧令第113条第1項第3号</u>.....</p>